

# こちら海老川町進路指導部

## 『こち海老』

2025年5月2日

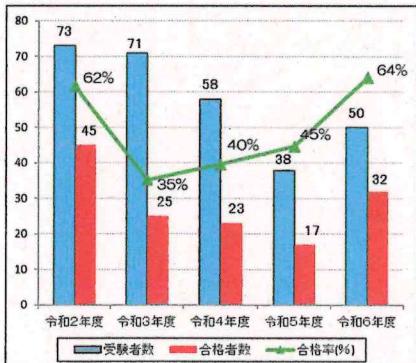
第1号

発行

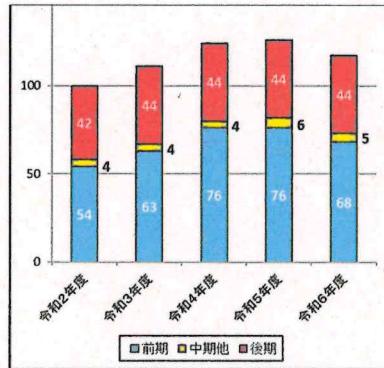
青森県立田名部高等学校  
進路指導部

令和6年度 進路状況 令和7年3月卒業生(卒業生総数 177名)の合格状況延べ数を紹介します。

			合格者・内定者数	主な合格先・内定先
進学	国公立	国公立	78	小樽商科大、北海道教育大旭川校、弘前大②、岩手大⑧、山形大②、福島大、宇都宮大④、埼玉大、茨城大②、東京学芸大②、横浜国立大、鹿児島大
		私立	135	はこだて未来大②、青森県立保健大⑧、青森公立大⑦、岩手県立大④、宮城大③、前橋工科大、高崎経済大、埼玉県立大、東京都立大、群馬県立女子大、山梨県立大、川崎市立看護大、新潟県立大
	大学	私立	135	札幌大、札幌国際大、札幌学院大、北海道科学大、酪農学園大②、青森大⑤、柴田学園大、八戸工業大、八戸学院大④、弘前学院大②、青森中央学院大③、弘前医療福祉大、盛岡大②、石巻専修大②、東北学院大⑩、東北工業大③、東北福祉大⑧、東北医薬大、宮城学院女子大⑤、仙台白百合女大②、東北文化学園大③、尚絅学院大、常磐大、国際医療福祉大②、医療創生大、日本工業大②、埼玉学園大、千葉商大、中央学院大、東京成徳大②、和洋女子大、SBC医療大、北里大、共立女子大、杏林大、工学院大②、国士館大③、駒澤大、芝浦工業大②、順天堂大、成蹊大、専修大③、大東文化大、拓殖大②、帝京大③、東海大③、東京家政大、東京工科大、東京電機大③、東京理大、東洋大④、日本大②、日本社会事業大②、日本体育大、法政大、武蔵大②、武蔵野大②、明治学院大②、立正大②、東京富士大②、東京医療学院大、神奈川工科大③、関東学院大、洗足学園音大②、新潟医療福祉大、京都芸術大、岡山理大
	短大	国公立	3	岩手県大盛岡短②、山形県米沢女子短
	短大	私立	6	青森中央短②、八戸学院大短、弘前医療福祉短、仙台青葉学院短、洗足こども短
	専門学校・他		26	盛岡情報ITクリエイター専門学校、東奥保育福祉専門学院、東北メディカル学院③、仙台リハビリテーション専門学校②、横浜未来看護専門学校、東京女子医科大学看護専門学校、仙台デザイン&テクノロジー専門学校、国立音楽院、東北電子専門学校、日本デザイナー芸術学院、神田外語学院、早稲田美容専門学校、仙台工科専門学校、東洋理容美容専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、青森中央文化専門学校、大原法律公務員専門学校大宮校、仙台こども専門学校、東京アニメーションカレッジ専門学校、北海道どうぶつ・医療専門学校、仙台医療福祉専門学校、仙台ビューティアート専門学校、仙台ECO動物海洋専門学校
就職	民間	県内	2	日本原燃株式会社(事務)、和幸園(調理員)
	民間	県外	2	東京電力ホールディングス(事務職)、TBCグループ
	公務員		21	青森県職員、青森県職員学校事務、国家公務員一般職 東北②、むつ市初級一般行政職②、一般曹候補生⑦、自衛官候補生⑥、防衛大学校②



国公立大学 学校推薦型・総合型選抜  
受験者数・合格者数・合格率 推移



国公立大学  
出願総数 推移

# 卒業生アンケートより【抜粋】

この春田名部高校を卒業し、表面に載せた進路先へ進んでいった先輩方に向けてアンケートを実施しました。その中から「進路達成のために最も役に立った取り組み・活動」「3年間の失敗から学んだこと」「後輩へのアドバイス」という質問への回答を抜粋して掲載します。

1年次からできることもたくさんありますので、自分の希望進路達成のために参考にしてみてください♪

## Q. 進路達成のために最も役に立った取り組み・活動

毎日の積み重ね

親との会話、先生との面談

自分と向き合うこと

SDGsの活動

はっきりした目標を早めに決めるこ

過去問の解き直し

オープンキャンパス



## Q. 3年間の失敗から学んだこと



授業中に覚えて  
しまうのも大事

1年生から  
勉強の習慣を  
付けるべき

諦めない

自分がどこを  
間違えたのか  
分析する

書類は  
ちゃんと読む

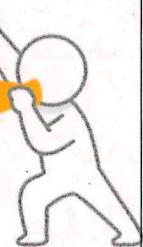
## Q. 後輩へのアドバイス

学習習慣がついてないと継続できない。1年のうちから勉強時間0分の日は作らないように。

どこかしら進路につながるかもしれないボランティアやイベントには積極的に参加しよう！

理数系が苦手な人は教科書を読んだり、面倒ですが自分で公式を導出したりしてみてください。

「目の前」にあるものに一生懸命取り組むことが大事！



今日は、記事の内容に合わせて、先輩から学ぶことの大切さについて述べたいと思います。

先輩方が残してくれたメッセージの根拠は何だと思いますか？私は「経験」であると考えています。上記のメッセージを残してくれた先輩方は、田高での三年間の生活を「経験」しています。その「経験」を通して感じたことや考えたことを、メッセージとして残してくれています。

自分自身の「経験」に支えられたメッセージには、説得力があると思いませんか？「経験」しているからこそ、先を見据えたメッセージや「〇〇までに△△をしておくといい」というような具体的なメッセージを出すことができています。皆さんには今、田高生を「経験」している最中です。見通しが立たないこともあるでしょう。そんな時こそ、先輩からのメッセージに注目してみてください。皆さんができるべきことのヒントが隠れていると思います。

参考までに、昨年度卒業した3年次の生徒が、在校生に向けて行った発表の資料を「R.O.I. 進路情報・ボランティア情報発信所」のクラスルームに掲載しました。ぜひご覧ください。

進路指導主任 佐藤琢磨

先輩から学ぶ意義、「経験」の説得力